

授業科目 基礎生理光学

【担当教員名】 魚里 博		対象学年	1	対象学科	視機
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		態度	
◎		○		○	
【概要・一般目標：GI0】 次年度以降の専門科目である生理光学や生理光学実習などの基礎となる。 眼に入射する光が網膜に達するまでの角膜、房水、水晶体、硝子体などによる屈折、反射、散乱について理解を目的とする。網膜に投影される像の眼球光学系の収差、瞳孔での回折や調節などの影響についても概説する。眼球光学系の構造・特徴を学び、近視・遠視・乱視・不同視・老視の概念を学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SB0】 光学の基礎ならびに眼の屈折異常矯正のため、レンズ、プリズムなどの光学素子の基礎知識を理解する。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	光の性質と基礎知識				講義
2	光学の物理法則（1）				講義
3	光学の物理法則（2）				講義
4	眼の光学系（眼光学）				講義
5	屈折と調節				講義
6	屈折異常とその矯正				講義
7	眼鏡、コンタクトレンズ、眼内レンズ、矯正手術				講義
8	視力、立体視、両眼視				講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		新しい眼光学の基礎	西信、岩田、魚里	金原出版	2008
		眼光学の基礎	西信、魚里 他	金原出版	1990
その他の資料		配布英文プリントあり Optics of Vision	魚里		Rev. ed.2013、配布プリント
【評価方法】 小テスト、レポート、定期試験の結果から総合評価			【履修上の留意点】 配布プリントを事前に読み下調べをしておくこと。		